

くずは

2025. 1. 10
発行 くずはの家
〒257-0031 秦野市曾屋 1137
TEL&FAX 0463(84)7874

今月の話題

「葛葉緑地を削る豪雨災害」

近年、地球温暖化の影響と思われる海水温の上昇は日本近海で著しく、研究者によれば、三陸沖の海水温は昨年、世界で一番激しく上昇し、海洋熱波と言われるほどだと言います。

また、海水温の上昇は、気温を上昇させたり、蒸発する水蒸気の量を増加させることで大雨をもたらしたりします。2020年以降、こういった気象災害が頻発するようになってきていて、葛葉緑地を流れる葛葉川も激流となって流れることが度々起こっています。

今から25年前の2000年3月、葛葉川を渡ってほたるの里に続く「ほたるの道徒渉石」が完成しました。この当時、徒渉石付近の川幅は10m程度で、飛び石を飛んで子供の足でも楽にほたるの里まで行くことができました。

その後は台風が来るたび、葛葉川は増水し、時折川岸を削っていましたが、2010年を過ぎた辺りから台風時

の川の増水の仕方が、尋常ではなくなりました。2020年頃からは川岸の浸食が進み、2021年には左岸(※)の曾屋水道の水源から葛葉川の川底を通り、とんぼのせせらぎまで水を運んでいた直径20cmの鉄管(コンクリートで被覆していた)がへし折られ、ついに水道は破壊されてしまいました。

2024年6月28日の豪雨では、とんぼのせせらぎ近くの葛葉川右岸(※)が削られ、シカ柵の川側の土手が消失しました。さらに8月30日には線状降水帯が発生し、善波トンネル伊勢原出口付近の斜面が崩落して、国道246号線が通行止めになりました。この雨で、とんぼのせせらぎ側(右岸)の土手を削って流れていた葛葉川の流路は大きく変わり、左岸を大きく削って、“ほたるの里”として昨年夏までほたるが生息し続けていた水路そのものが、無くなってしまいました。この2回の豪雨で葛葉川の川原は2000年頃と比べて3倍くらい広くなりました。今後、くずは峡谷はどのように変わっていくのでしょうか。

(※上流を背にし、向かって右が右岸、左が左岸)

文・写真：くずはの広場所長 高橋孝洋

2000年4月のほたるの里徒渉石付近と、
2025年1月の同じ場所を写した写真です。



2000年4月



2025年1月



今も残る
渡渉石の一部



12/7(土)ちびっこあつまれ! クリスマスカギづくり (22人)

参加者の声 ・3歳にできるかなと不安でしたが本人がとても楽しそうに取り組んでいたのので、参加してよかったです。
・自然の素材で、子どもが考えながら素敵なクリスマス飾りが作れて、とても楽しかったです。大きな松ぼっくりもめずらしいので、とても良かったです。

12/14(土) 冬の野鳥観察 (21人)

参加者の声 ・今日は特にイカルとコゲラが良く見られて嬉しかったです。エナガとヤマガラ見たかったなあ…。野鳥はひとりだとなかなか見つけれないし見つけても特定できなかったりするので観察会のような場はありがたいです。ありがとうございました。

くずはの家 行事案内

昼の行事：小学2年生以下は保護者同伴

日 時	テーマ・講 師	対象・定員	受付開始
1月25日(土) 9:30～11:30	冬越しの虫をさがそう ～朽ち木を割ってみよう～ えのきの会昆虫分科会・くずはの広場指導員	小学生以上30名	1月4日
2月11日(火・祝) 9:30～10:30	ミニ野鳥観察会 えのきの会野鳥分科会・くずはの広場指導員	小学生以上20名	2月1日
2月15日(土) 10:00～11:30	ちびっこあつまれ! ～冬のしぜん～ くずはの広場指導員	3～6歳の幼児と その保護者20名	2月1日
2月22日(土) 9:30～11:30	探してみよう! 動物からのメッセージ えのきの会動物分科会・くずはの広場指導員	小学生以上20名	2月1日

はだのブランドアンバサダーを務めるシンガーソングライターの立石純子さんから寄贈された**方位盤**が、くすのき広場の入り口に設置されました。ぜひ、ご覧ください!



くずはの広場では1月から3月まで、ウッドチップ舗装工事、および樹林整備を行います。一部通行止めになりますので、ご注意ください。ご不便をおかけしますが、ご理解の程よろしくお願いいたします。



行事へのお申し込み・お問い合わせは
電話・FAX・メールで

TEL & FAX 0463(84)7874

E-mail: kuzuhaie@city.hadano.kanagawa.jp

1月の休館日

1～3日、6日、14日、15日、20日、27日

2月の休館日

3日、10日、12日、17日

25日、26日

くずはの家HPはこちらから→

ホームページ



メールアドレス



秦野ガス・ネイチャーパークくずは

くずはの家のボランティア活動

12月の活動

定例会：12月は、2回とも住宅地に面した道路の落ち葉掃きをしました。緑地の近くにお住まいの皆さんは、普段は自然に癒されていますが、この時期は落ち葉に困っていらっしゃるはず。少しでもお役に当てればと思い、みんなでがんばりました。そして活動後は、所長特製のアシナガきのこのおそばを食べて、一年の活動を締めくくりました。

花壇の会：枯草とりと落ち葉掃きをして花壇をきれいにしました。

とんぼのせせらぎ：水路の落ち葉を取り、丸木橋の修理をしました。ほたるの里では、取水設備の中の井戸の水漏れの修理を試みました。

☆これからの活動

定例会：1/12(日)、1/23(木)、2/2(日)

花壇の会：

1/10(金)、2/7(金)

とんぼのせせらぎ：

1/30(木)

アシナガきのこそばで
一年の締めくくり



この活動は一般財団法人セブン・イレブン記念財団の助成を受けて実施しています。



くずはの広場観察路マップ

2025年1月5日調べ

①～⑪には観察板があります。
回ってみましょう！

凡 例	
△	つぼみ
▲	咲き始め
○	開花
◎	満開
●	咲き終わり
◇	実
◆	熟した実

里全体が削られてしまいました
タブノキ△
ほたるの里



ルリビタキ (オス)

12月の野鳥

(12月2日～1月5日調べ)

- 1、キジバト
- 2、アオバト
- 3、ドバト
- 4、カワウ
- 5、アオサギ
- 6、ダイサギ
- 7、トビ
- 8、ハイタカ
- 9、ノスリ
- 10、カワセミ
- 11、コゲラ
- 12、アオゲラ
- 13、モズ
- 14、ハシボソガラス
- 15、ハシブトガラス
- 16、ヤマガラ
- 17、シジュウカラ
- 18、ヒヨドリ
- 19、ウグイス
- 20、エナガ
- 21、メジロ
- 22、シロハラ
- 23、ルリビタキ
- 24、ジョウビタキ
- 25、キセキレイ
- 26、ハクセキレイ
- 27、セグロセキレイ
- 28、カワラヒワ
- 29、イカル
- 30、アオジ
- 31、コジュケイ
- 32、ガビチョウ
- 33、ソウシチョウ



ゴマダラチョウ(左)と
オオムラサキ(右)の幼虫

12月の昆虫

チョウ・ガの仲間

オオムラサキ幼虫
ゴマダラチョウ幼虫
キタキチョウ
キタテハ
ヤマトシジミ
ムラサキシジミ
ウラギンシジミ
ムラサキツバメ
ミノウスバ

カメムシの仲間

エサキモンキツノカメムシ
キマダラカメムシ
クサギカメムシ
ホソハリカメムシ
オオトビサシガメ
ツヤアオカメムシ
クスベニヒラタカスミカメ
アザミオオヒゲナガアブラムシ

カブトムシの仲間

アオオサムシ
ヒメツチハンミョウ
キイロテントウ

トンボの仲間

オニヤンマ幼虫
アキアカネ
ホソミイトトンボ

バッタの仲間

クビキリギス
コバネイナゴ
ヒメクダマキモドキ
マダラカマドウマ

その他の仲間

クロスズメバチ越冬女王
ムネアカハラビロカマキリ
トゲナナフシ
ガガンボの仲間幼虫



ホソミイトトンボ

くずはの広場トピックス

カメラは見た！…12月12～20日

進入路と並行するルートにセンサーカメラを仕掛けたところ、日中にも関わらず5頭の雌ジカの群れがちよくちよく餌を食べに来ていました。首を伸ばして進入路を伺うも逃げる様子はありません。今、シカが恐れるものは何かな？

ホソミイトンボ…12月26日

こんな寒い時期にトンボ？居るんです。日本では冬を成虫で越すトンボが3種類いるそうですが、このホソミイトンボは南方系で、くずはの広場では確認されていませんでした。温暖化が主な要因と言われ、神奈川県では分布が広がっています。細～い枯れ枝のような体のトンボ見つけれれるかな？